

長期ビジョンと2020年のありたい姿の関係

SMMグループは価値創造の方向性を示すものとして、長期ビジョンおよび「2020年のありたい姿」を掲げています。この二つの目標を達成するための活動はSMMグループがめざす、「持続的な成長と企業価値の最大化」を図るうえで不可分であり、一体のものとして進めています。

持続的な成長と 企業価値の最大化

長期ビジョン

長期ビジョンは継続的な成長戦略を
実行するための目標であり、素材や製
品の長期的な安定供給をめざします。

また、2021年度がターゲットである
長期ビジョンを達成するために、中期の
戦略目標として3年ごとに中期経営計画

(中計)を定めています。2015年度は12中
計の最終年度であったため、12中計の
結果を踏まえて15中計を策定しました。

長期ビジョン

世界の非鉄リーダー & 日本のエクセレントカンパニー

長期ビジョンのターゲット

世界の非鉄リーダー

銅	ニッケル	金	新規材料
権益シェア分年間生産量 30 万トン	年間生産能力 15 万トン体制	権益シェア分年間生産量 30 トン	経常利益 50 億円
SMMは2011年にチリのシエラゴルダプロジェクトの権益を取得するなど、海外鉱山プロジェクトへの投資を進めています。現在は米国、チリ、ペルー、オーストラリアなどに銅鉱山権益を保有しています。今後も開発案件への参入、既存鉱山の増産などの手法により、銅権益シェア分年間生産量30万トンをめざしていきます。	2013年後半からタガニートプロジェクトが生産を開始し、ニッケル年産10万トン体制がスタートしました。引き続き15万トン体制の構築に向け、HPAL技術を中心に新たな開発案件の検討を行なっていきます。	SMMは、国内で唯一商業規模で操業している金属鉱山である菱刈鉱山を有しており、また米国アラスカ・ポゴ金鉱山の操業・運営を行なっています。これらの鉱山経営のノウハウを蓄積し、新たな鉱山開発を中心に、金権益シェア分年間生産量30トンをめざします。	材料事業部門と研究開発部門の連携により、新規材料製品の開発を加速させ、利益貢献をめざしていきます。

日本のエクセレントカンパニー

売上高 1 兆円	当期純利益 1,000 億円
--------------------	--------------------------

2020年のありたい姿

— CSR重点6分野における —

「2020年のありたい姿」は、SMMグループが地球および社会と共存するための目標であり、持続可能な発展をめざします。SMMグループの事業は、鉱山開発などの大規模な開発を伴うことから、その周辺へ与えるインパクトが大きくかつその及ぼす範囲が経済、環境、人権、地域コミュニティなど多岐に亘ります。

このことから、SMMグループでは、法的な操業許可に加えて、地域社会との信頼関係無くして得られない社会的操業許可いわゆるSocial License to Operateを得ることが事業を行なう上で不可欠であると考えています。SMMグループでは、事業のグローバル化の進展やその他の社会情勢の変化を踏まえ、2015年にCSR重点6分

野における「2020年のありたい姿」を見直しました。この見直しに合わせ多くのサステナビリティ課題の中から社会的操業許可や将来に向けた収益の機会または競争力の源泉への影響などを評価の主な視点としSMMグループが取り組むべき重要課題 (Material Issue) を特定しました (特定プロセスについては、P59~61を参照ください)。

<p>資源の有効活用</p> <p>独自の技術で 資源を生み出す企業</p> <p>[KPI] 資源(低品位鉱、難処理鉱等)の効率的回収技術の開発と応用 副産物の新規用途開発と有効利用 リサイクルの推進</p>	<p>環境保全</p> <p>固有技術を活用し 環境負荷を低減させ、 地球環境保全に 貢献する企業</p> <p>[KPI] 生物多様性保全の推進 重大環境事故ゼロの維持</p>	<p>地域貢献・社会貢献</p> <p>事業および地域に根差した 社会貢献活動を通じて、地域の 発展に貢献し信頼を得る企業</p> <p>[KPI] 1.地域コミュニティとのコミュニケーションを通じて、操業地域における社会課題を把握し、その解決を支援するプログラムを実施する 2.事業立地国の教育環境整備、学術活動、文化・伝統・芸術の維持と発展を支援する 3.大規模災害の復旧・復興を支援する 1から3までの活動のための財務的手当を行う</p>
<p>人権・人材の尊重</p> <p>多様な人材がそれぞれの能力を 十分に発揮してそれぞれの分野で 生き生きと活躍している企業</p> <p>関係するステークホルダーと共に 積極的に人権が尊重される社会を 目指す企業</p> <p>[KPI] 人材が生き生きと活躍できる企業 多様性の尊重 人材育成 重大な人権侵害の防止</p>	<p>安全・衛生の確保</p> <p>安全を最優先し、 快適な職場環境を 確保している企業</p> <p>[KPI] 安全の確保 快適な職場環境の確保</p>	<p>ステークホルダーとの コミュニケーション</p> <p>地球規模ですべての ステークホルダーと 透明性のある コミュニケーションを図り、 相互理解を深める企業</p> <p>[KPI] 従業員との相互理解促進 地域住民、市民団体との相互理解促進 株主・投資家との相互理解促進 その他のステークホルダーとの相互理解促進</p>

CSR方針

- 資源の有効利用およびリサイクルを推進するとともに、技術革新やエネルギー効率の継続的な改善などにより、地球温暖化対策に取り組みます
- 国内外において地域に根ざした活動を積極的に推進し、地域社会との共存を図ります
- 健全な事業活動を継続するために、人権を尊重するとともに、多様な人材が活躍する企業を目指します
- 安全を最優先し、快適な職場環境の確保と労働災害ゼロを達成します
- 多様なステークホルダーとのコミュニケーションを強化し、健全な関係を構築します